

日本国際看護学会第6回学術集会の開催にあたって

日本国際看護学会第6回学術集会会長
河原 宣子 (京都橘大学)

日本国際看護学会第6回学術集会にご参加の皆様と学術集会の企画・運営を支えていただいたすべての方々に心より感謝申し上げます。

日本国際看護学会は、国際看護に関する研究を促進し、会員相互および内外の関連機関との連携を図りながら、国際看護の発展に寄与することを目的とした活動をしています（日本国際看護学会ホームページ <https://www.jsin.jp/index.html> より）。振り返れば、研究会から学会へ、日本学術会議協力学術研究団体指定、そして一般社団法人化検討と、国際看護学という学問の人格をもち、活動できるように尽力してまいりました。

今回の第6回学術集会は、メインテーマを「広めよう！国際看護ティーチングメソッド」といたしました。

国際看護の授業や研修は全国各地で開催されています。教育・臨地現場問わず、国際看護教育に関する学習内容や方法について多種多様な工夫をしておられると推察します。一方で、どのように授業展開すればよいか迷っておられる養成機関や施設もあるのではないのでしょうか。

そこで、第6回学術集会では、国際看護教育に関する多くの事例や教育方法について皆様と共有していきたいと思えます。教育講演に始まり、ワークショップ、委員会企画、そして一般演題発表において、魅力的なメソッドが紹介されます。ご協力いただいたご登壇者の皆様に深謝申し上げます。皆様におかれましては、楽しみながら各プログラムにご参加いただければ幸いです。

改めて、プログラム全体を概観しますと、やはり何よりも大切なのは、国際看護のコアは何だろうか？という問いに向き合い、議論し、伝え続けることであると痛感いたします。

皆様と共に、国際看護学の発展に向けて、議論を深めることができれば幸いです。

今年度の学術集会もオンライン開催となりました。

直接お目にかかれないのは残念でなりません。新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響で、大変な状況に遭われた方々への心からのお見舞いを申し上げますとともに、日々ご尽力いただいている看護職の皆様に敬意を表します。

最後になりましたが、皆様のご多幸とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

2022年8月5日